

# 学力向上推進地域 研究通信

平成 29 年 9 月 29 日  
(八次中学校区研究推進地域 第 7 号)  
研究推進教員 八次中学校 豊永政男

第 4 回研究授業及び研究協議会へのご参加ありがとうございました。今回の協議会の内容や指導助言を以下にまとめております。共有していただき、全教科・全職員での研修推進をよろしく願います。

【第 4 回研究授業（算数）】 日 時：平成 29 年 9 月 20 日（水）  
単元名：3 つのかずのけいさん  
指導者：八次小学校 高橋 綾香 教諭



## ★授業で提案した指導改善のポイント

学習課題：問題文の言葉を手がかりにして、具体的操作及び図を書かせ演算を決定させる課題を設定する。  
発問：「増えたかな？」「減ったかな？」と学習場面の状況を問う発問をする。



## 研究協議

- ブロック操作や色分けのある活動がよかった。
- 評価問題はほとんどの子が解けていた。
- 矢印の意味が一般化しにくく、図から問題文をイメージできるかが検証の視点として必要。
- 児童の「分からない」という発言を取り上げ、授業へ位置づけていく必要がある。

## 指導助言 <広島県北部教育事務所 教育指導課 宮地隆治 指導主事>

- ・掲示物という視覚的支援，3枚の絵を用いたスモールステップ，具体物の操作など，つまずきが見られる児童への手立てが見られた。
- ・「目標・めあて（学習課題）・まとめ」の一貫性を持たせる。
- ・単元全体と本時の関係が分かるように，指導の計画を具体化させる。

## 指導講話 「課題発見解決学習を取り入れた算数科の授業づくり（単元構成）」

<広島文教女子大学人間科学部初等教育学科 今崎浩 教授>

### ○本単元を学ぶ意義とよさ

- ・新学習指導要領で算数・数学で最も増えている文言は「よさ」  
⇒教科の性質や役割に触れさせることが「深い学び」へとつながる。  
(参考)総則では「特質」，社会では「誇り」という文言が増えている。

### ○「数学的の活動の充実」と「深い学びの実現」に係って

- ・「日常生活の事象を数値的に捉えること」と「算数の学習」をバランスよく設定する。
- ・単元の最後での「振り返り」，授業の「振り返り」が深い学びにつながる。
- ・単元の中で本時の位置づけを明確にする。

### ○数学的な表現力の育成

- ・評価問題だけでなく問題作りも取り入れる。  
(例)「 $5 - 3 + 4 = 6$ 」になるお話を作る



- ★どの教科にもつながる点（今後に生かしたい点）
- ①つまずきが見られる児童生徒への具体的手立て
  - ②単元計画の充実と具体化
  - ③教科の性質や役割に触れさせる学びの設定